1 事業所等の概要

事	業 所		の名	称	山上	上図	主 館	i															
	* 17	-11	V /H	.lv1.	1 /	ΛШ		-															
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	0	1									
	, W				Ŧ	1	9	0		0	0	1	2	区	市	町	村	名	東京都立川	市			
事	業所	等の	所 在	地	町以以	名 番	F 地 下	曙町	T2-														
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		8	,035	.31	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の -	実 <i>i</i> ・ 使	績 :	年 刊 :	度期	の間	■ 1年度名	जे		1年末	卡満
所	有	•	形	態		自己	引所不	旨] 他	者列	悀											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ、	ン	\)			■建物の−	一部	(その)他)	
土口	光然 国	I	・ナフロ	1 \		事務	所					商業	纟施調	没(4	物	坂)] 商業施設	足(食	欠食)		
半収	告範囲	100±	こだる州	一		工場	<u>크</u> 7					複合	施	設					その他				
	本 標 おける	6細2	分類番	: 号	8	2	1	2	連	鎖化	(事美	美区 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟店	1		非該	ぎ当
再の	生可能 利	ドエ 用	ネルキ 状	゛ 沢			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネバ	レギ	一電	Ì	□ 証書に の利用	よる	環境	価値	
前か	年度らる	の 朝 り <i>ਭ</i>		容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	385	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	709	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	711	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	\$	8.2	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			12/11		6	7	8=(6/1000)×7	9	$0=8\times 9\times 44/12$
.[44].	都市ガス			Nm^3	22.2	45.00	1.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(産業用	以外の蒸気)		MJ	220,320.0	1.36	299.6	0.0600	13.2
び 熱	その他(温水)			MJ	2,114,037.2	1.36	2,875.1	0.0600	126.8
75%	その他(冷水)			MJ	2,369,169.2	1.36	3,222.1	0.0600	142.2
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	874,251.4	9.76	8,532.7	0.4890	427.5
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 14,930.5		¹⁵ 709.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,124.9			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	3,152.2			0.4000	1.3
		合 計							2.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点文	 対策			その他対策	ž
		対策番号		対策名		対策番号	対策	兼名
		A202	温暖化対策推	進担当の配置				
公日 :	織体制の整備							
/P.D. /								
T	ネルギー等の	B102	関連他者から	の情報を加えて	把握			
	用状況の把握							
	1	C101	## 7 + ##	オのマナルト、WI	ar*	C100	1770日ラフィルト	r/か四ナ 士 二
		C101 C109	空室•不在時	等のこまめな消火	<u> </u>	C102 C105	照明スイッチに点点 昼休み時の消灯の	
		C109	至至"小仁时"	守い		C103	温度計等による室	
						C100	余熱利用による早	
	運用対策					C115	事務用機器を業務	
415						C510	その他設備の不使	
省工								
ネ								
ルギ								
7		D103	中央熱源機器	等の定期点検の	の実施			
対	設備保守対策	D104	空調フィルター	-の清掃・点検				
策	設 佣 休 寸 刈 鬼	D106	ボイラ等の定期	別点検の実施				
	設備導入対策							
実統		の状況	□目標達	 成した。				
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			71-1-0	1			
5_	提出年度の地球			_				
目	標 の 有 無	■有	無					
		ベンチマー	ク区分		ランク		2削減率(前年度比)	%
目核	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	742.8 t
		その他		特記事項に	内容を	記載		-
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	上码	沙図	書館	Ī														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	0	2								
					₹	1	9	0	_	0	0	3	2	区ī	市 町	村々	名 東	京都立	川市			
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	· 地 下	上砂)町1	-13	-1											
事	業所等	多の多	延床面	ī積		3	,475	5.57	m^2		業				責年 用:	度 <i>0</i> 期 間		1年度	度分] 1 ^左	F未満
所	有		形	態		自己	別所	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	テナン	/ト)		3	建物の	一部	(そ	の他	ī)
共口	告範囲	\mathcal{L}	・たて日	1 ンク		事務	骄					商業	(施	没(物	加販)		□ j	商業施	設(的	次食)	
羊区	口軋团	Vノ土	ここの月	力还		工場	3 7					複合	施	設			.	その他	ı			
に	本標	細り	分類 番	号	8	2	1	2	連	鎖化	么事美	業区 2	分		直営	店		加盟	店		非	該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	⁻ 一 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の	可能受入	ニエネ	ルギ	一電		証書の利,		環境	6価値	直
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 87	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 170	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 171	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 48.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	尔	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,873.4	45.00	174.3	0.0136	8.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	331,404.0	9.76	3,234.5	0.4890	162.1
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,408.8		170.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,924.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	2,924.0	/		0.4000	1.2
	·	合 計				/			1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策番号 対策名 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 温暖化対策推進担当の配置 A202 照明スイッチに点灯範囲 A202 温度小等のよう室温の A202 A20	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 正ネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範l C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 であり、 での他設備の不使用時 であり、 であり、 であり、 であり、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
使用状況の把握	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
(日の日本)	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
運用対策 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 に100 定額計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 で510 その他設備の不使用時 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 ウンイルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
選度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	把握と調整 空調停止 ^ 時に停止
運用対策 C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 その他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	空調停止 一
選用対策 C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 プロスターの情報・点検 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	一時に停止
省	
有	手の停止
エ ネル ギー D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対策 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	
ル ギ	
ギ D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
第 設備保守対策 200	
東	
設備導入対策	
以佣等八对来	
⇒ はた 中の 日	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
目標の有無□ 有■無	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	(
日標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	
その他特記事項に内容を記載	
たり他	1

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	多層	擎川	図書	辪館											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	0	3					
					₹	1	9	0	_	0	0	1	3	区ī	† 町	村名	東京都立川市	ī	
事	業所	等 ₫	所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	富士	:見町	6-	51-	1							
事	業所等	争の	延床面	ī積			970	.77	m^2			r 等 レギ			責年 用:	度の期間		_ 1	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		■他	1.者页	桁有					_		
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		■ 建	物の)一音	部(ラ	ーナン	/ ト)		□ 建物の一	部(その作	也)
也	告範囲	m i	ーたスH	1 沦		事務	所					商業	能施言	没(物	7販)		□ 商業施設	(飲食)	
和	口型	Vノゴ	ニルのカ	7 灰		工場	크 7					複合	施調	<u></u>			■ その他		
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	2	1	2	連	鎖化	(事)	美区 2			直営	<i>/</i> —	□ 加盟店	■ ∌	丰該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ 置	_		再生 気の			ルギ	一電	□ 証書によ の利用	る環境価	値
前か	年度らの			容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 20	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 39	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 40.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日三 (1) 1 4 (4)	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	74.7	50.80	3.8	0.0161	0.2
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	79,882.0	9.76	779.6	0.4890	39.1
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 783.4		⁽¹⁵⁾ 39.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	397.0	/		0.2660	0.1
他	公共下水道	-		m^3	397.0			0.4000	0.2
		合 計				/			0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策番号 対策名 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 温暖化対策推進担当の配置 A202 照明スイッチに点灯範囲 A202 温度小等のよう室温の A202 A20	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 正ネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範l C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 であり、 での他設備の不使用時 であり、 であり、 であり、 であり、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
使用状況の把握	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
(日の日本)	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
運用対策 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 に100 定額計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 で510 その他設備の不使用時 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 ウンイルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
選度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	把握と調整 空調停止 ^ 時に停止
運用対策 C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 その他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	空調停止 一
選用対策 C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 プロスターの情報・点検 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	一時に停止
省	
有	手の停止
エ ネル ギー D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対策 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	
ル ギ	
ギ D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
第 設備保守対策 200	
東	
設備導入対策	
以佣等八对来	
⇒ はた 中の 日	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
目標の有無□ 有■無	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	(
日標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	
その他特記事項に内容を記載	
たり他	1

1 事業所等の概要

事	業所		の名	称	若剪	美図	書館	5 1 1															
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	0	4									
					Ŧ	1	9	0		0	0	0	1	区	市	町	村	名	東京都立川	市			
事	業所	等の	所 在	地	町夕以	名 番	F 地 下	若葉	町3	-34	-1												
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		1	,119	.26	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の : 	実 <i>i</i> ・ 使	漬 [年 則		の間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有	,	形	態		自己	1所1	有		〕他	者別	桁											
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ント	、)] 建物の-	一部	(そ	の他)
報	告範囲	の主	こたる用	建		事務							羊施		物具	反)				没(食	欠食)	
L	- I	NIL -	- 1116 A	Ver	Ш	工場	हें				Ш	複合)他						その他				
	本 標 おける	6細2	分類番	号	8	2	1	2	連	鎖化	(事業	美区?	分		Ī	重営	店		□ 加盟原	吉		非	該当
再の	生可能 利	ドエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギ	一電	Ĺ	□ 証書に の利用		環境	価値	Ĺ
前 か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 37	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 73	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 73	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		H = 1 - 1 1 1 1	推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用里	(水) (水)	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			区川		6	7	8=(6/1000)×7	9	(10)=(8) × (9) × 44/12
444.	都市ガス			Nm^3	15,970.1	45.00	718.7	0.0136	35.8
燃料	その他(LPG)			kg	8.7	50.80	0.4	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	76,638.0	9.76	748.0	0.4890	37.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,467.1		73.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	605.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	605.0	/		0.4000	0.2
	-	合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策番号 対策名 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 温暖化対策推進担当の配置 A202 照明スイッチに点灯範囲 A202 温度小等のよう室温の A202 A20	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 正ネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範l C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 であり、 での他設備の不使用時 であり、 であり、 であり、 であり、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
使用状況の把握	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
(日の日本)	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
運用対策 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 に100 定額計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 で510 その他設備の不使用時 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 ウンイルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
選度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	把握と調整 空調停止 ^ 時に停止
運用対策 C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 その他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	空調停止 一
選用対策 C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 プロスターの情報・点検 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	一時に停止
省	
有	手の停止
エ ネル ギー D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対策 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	
ル ギ	
ギ D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
第 設備保守対策 200	
東	
設備導入対策	
以佣等八对来	
⇒ はた 中の 日	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
目標の有無□ 有■無	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	(
日標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	
その他特記事項に内容を記載	
たり他	1

1 事業所等の概要

	λΙΙΔ. →r		- H	T1.	ىل جىلب	n lad		.															
事	来 乃	等	の名	称	局型	公凶	销告	1															
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	7	0									
					₹	1	9	0	_	0	0	1	1	区	市	町	村	名	東京都立川	市			
事	業所	等 ₫	所 在	地	町 り 以	名 番	地 下	高松	计3	-22	-5												
事	業所等	等の タ	延床面	ī積			341	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の -	実 ¾ · 使	績 [〕	年 制		の間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有	•	形	態		自己	引所不	旨		■ 他	1者列	斤有											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		建	物の)— [‡]	郭(ラ	テナ	ント	、)			〕建物の-	一部	(そ	の他))
共口	告範囲	1 m -	ーたフロ	1 冷		事務	所					商業	き施!	設(4	物具	灰)] 商業施	没(食	次食)	
羊収	一电世	リクノユ	こにつけ	1 述		工場	<u>크</u>					複合	}施	設					その他				
	本 標 おける	6細2	分類番	号	8	2	1	2	連	鎖化	/事業	業区 :	分		Ī	直営	店		□ 加盟原	店		非詞	該当
再の	生可育	ドエ 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_			三可能) 受 <i>入</i>		ネル	ギ	一電	Ì	□ 証書に の利用		環境	価値	•
前 か	年度らる		设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 13	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	26	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 26	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 76.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計		4- m =	17 W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	490.6	45.00	22.1	0.0136	1.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	51,595.0	9.76	503.6	0.4890	25.2
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 525.6		26.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	227.8			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	227.8			0.4000	0.1
	-	合 計				/			0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策番号 対策名 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 温暖化対策推進担当の配置 A202 照明スイッチに点灯範囲 A202 温度小等のよう室温の A202 A20	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 正ネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範l C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 であり、 での他設備の不使用時 であり、 であり、 であり、 であり、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
田	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
エネルギー等の使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 照明スイッチに点灯範目 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 C108 温度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 をの他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
使用状況の把握	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
(日の日本)	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
運用対策 C109 空室・不在時等の空調停止 C105 昼休み時の消灯の実施 に100 定額計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 で510 その他設備の不使用時 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 ウンイルターの清掃・点検	西 把握と調整 空調停止 で時に停止
選度計等による室温の C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 対策 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	把握と調整 空調停止 ^ 時に停止
運用対策 C110 余熱利用による早めの C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 C510 その他設備の不使用時 D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 D104 空調フィルターの清掃・点検	空調停止 一
選用対策 C115 事務用機器を業務終了 C510 その他設備の不使用時 プロスターの情報・点検 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	一時に停止
省	
有	手の停止
エ ネル ギー D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対策 設備保守対策 D104 空調フィルターの清掃・点検	
ル ギ	
ギ D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 対 D104 空調フィルターの清掃・点検	
第 設備保守対策 200	
東	
設備導入対策	
以佣等八对来	
⇒ はた 中の 日	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
目標の有無□ 有■無	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	(
日標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	
その他特記事項に内容を記載	
たり他	1

1 事業所等の概要

業彦	デ 等	の名	称	立丿	川市	滝ノ	上会	館															
業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	2	3										
				₹	1	9	0	_	0	0	1	3	区	市	町	村	名	東京	都立	川市			
業所	等 0	所 在	地		名 番	地 下	富士	:見町	4-1	16-	10												
業所等	等の	延床面	ī積			648	.29	m^2											1年周	度分	[] 1	年未満
有	Ī	形	態		自己	1所1	有] 他	1者別	桁												
告	-	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	ーナ	ン	(~)			〕建	物の)一音	ß (3	との	也)
生祭田	I	ーたスH	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(5	物	坂)			〕商	業施	證(飲1)	
口里也因	コマノコ	こに公开	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没					■ そ	の他				
おける	5細:	分類番	号	8	2	1	9			/事業	美区 2	分		Ī	直営	店			加盟	店	l	■ 🦻	非該当
生可能	能工 用	ネルキ 状	· 況						_					ネバ	レギ、	一電					5環	境価	i値
			容点																				
	業業業告本お生年所新標所所標所所所有西標所所	業 所 等 の 業 都 生 年 本 お 生 年 年 か ま の ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	業 所 等 の 名 業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 方 で 麻 も 一 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	業 所 等 の 名 称 業 所 等 の 所 在 地 業 所 等 の 所 在 面 積 有 形 範 用 を を を を の 主 た る 用 途 年 の 主 た る 用 途 年 の 報 年 の 報 告 一 況 存 男 一 況 存 の 報 告 の お の 報 告 一 況 存 の 報 告 一 況 存 の 報 告 の お の 報 告 の お の 報 告 の お の 報 告 の お の 報 告 の お の 報 告 の お の 報 告 の お の お の お の お の お の お の お の お の お の	業所等の名称 立 業所等の所在 を	業 所 等 の 名 称 立川市 業 所 番 号 A 1	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ 業 所 番 号 A 1 0 業 所 等 の 所 在 地	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会 業 所 番 号 A 1 0 1	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 業所等の所在地 以 A 番 地 以 B まし町4-2 業所等の延床面積 648.29 m² 事 3 有 形 態 自己所有 □ 他 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の全部 □ 建物の全部 □ 基 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 8 2 1 9 連鎖化 本標準産業分類 8 2 1 9 連鎖化 本標準産業分類 8 2 1 9 連鎖化 年度の報告内容	業所等の名称 立川市滝ノ上会館 業所番号A 1 0 1 3 - 0 業所等の所在地 以	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 1 町以 名 番 地	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 業所等の所在地 町 名 番 地 以	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 業所等の所在地	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 1 3 区市 町 名 番 地 以	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 デ 1 9 0 - 0 0 1 3 区市町 ボ 所等の所在地 ボ 名 番 地 以 名 番 地 以 事業所等の実績年 有 形 態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 8 2 1 9 連鎖化事業区分 □ 直営 生可能エネルギー 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー 気の受入 年度の報告内容	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 素 所 等 の 所 在 地	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 〒 1 9 0 - 0 0 1 3 区市町村名 町名番地以 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 告範囲の主たる用途 □ 非務所 □ 協会施設 □ 表 で で は で で で で で で で で で で で で で で で で	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 素所等の所在地	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 東 所 等 の 所 在 地	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 平 1 9 0 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都立川市 業 所等の所在地 町 名 番 地 以 事業 所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 有 形態 ■ 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(物販) □ 商業施設(物販) □ 商業施設(物販) □ 商業施設(本標準産業分類番号 8 2 1 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 生 可能エネルギー 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー □ 所生可能エネルギー 利 用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 同共可能エネルギー □ 証書によるの利用	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 素 所 等 の 所 在 地	業 所 等 の 名 称 立川市滝ノ上会館 業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 〒 1 9 0 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都立川市 町 名 番 地 以 事業 所等の実績年度の まえ ルギー使用期間 有 形 態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その何告範囲の主たる用途 □ 非務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 技行る細分類番号 生 可能エネルギー 利 用 状 況 再生可能エネルギー 利 用 状 況 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 元報 またよる環境価の利用

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	11	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	21	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	421	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 32.3	$kg-CO_2/m^2$

		四重4小川	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	(不致 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	5,196.7	45.00	233.9	0.0136	11.7
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
_^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	20,864.0	9.76	203.6	0.4890	10.2
規則	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 437.5		¹⁵ 21.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	119.0			0.2660	0.0
他	公共下水道	_		m^3	119.0			0.4000	0.0
		合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
/	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法書		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1	事業所	笙の	柙	西
1	ずモバ	マティン	TPAT.	ェ

	3 /1~/		- 100																					
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	こん	ぴら	橋会	食館														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	2	4										
Γ.					₹	1	9	0	_	0	0	3	1	区	Ħ.	可	村。	名 戼	東京	都立。	川市			
事 	業所	等 σ	所 在	地	町以	名番	F 地 下	砂川	町3															
事	業所等	等の多	延床面	ī積			616	.48	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レキ	の <u>:</u> 	実 : : 使	績	年 用:	度 (期 「	か 間		1年度	度分	[] 1	年未満
所	有	•	形	態		自己	所	有] 他	1.者列	f有												
報	告	-	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ン	F)			建	物の) — 音	ß (そ	<u>-</u> の(也)
起	生然田	i o i	こたる用	1.2		事務	所					商業	纟施言	没(!	物	販)			商	業施	設(飲食)	
干区	口里U口	コマノユ	こんの圧	1 匝		工場	<u>크</u> 7					複合	施	没					そ	の他	ı			
に	おける	5 細 2	(: 号	8	2	1	9			/事業	美区	分]	直営	·店			加盟	店	I	■ 🦻	非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_			可能 受入		ネル	ルギ・	一電			証書 の利		5環:	境価	値
前 か		の 報 の <i>薬</i>	设告内 区 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 8	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 16	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	© 25.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田東子小川	推計		4. T. E	H W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8)×9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,495.4	45.00	157.3	0.0136	7.8
燃料	その他(LPG)			kg	23.0	50.80	1.2	0.0161	0.1
及	その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	17,500.0	9.76	170.8	0.4890	8.6
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 329.3		16.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	104.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	104.0	/		0.4000	0.0
	-	合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
/	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法と		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1	事業所	筌の	概要
1	チャルバ	マナマノ	113/1/32

	* / 1 *//																						
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	高枢	会的	館														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	2	5									
					₹	1	9	0	_	0	0	1	1	区	市	町	村	名	東京都立川	市			
事	業所	等 €	所 在	地	町 り 以	名 番	地 下	高枢)町2	-25	-26	3											
事	業所等	等の タ	延床面	ī積			357	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の 	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 用;		の間	■ 1年度	分		1年未	満
所	有		形	態		自己	引所不	钉		〕他	1者列	斤有											
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	郭(ラ	ーナ	ン	(-)			〕建物の−	一部	(その)他)	
共口	北	I D F	ーチフロ	1 冷		事務	丽					商業	纟施言	没(5	物	坂)] 商業施設	殳(食	饮食)		
羊収	古軋世	リワユ	こたる月	1 述		工場	<u>크</u>					複合	施	設					その他				
に	おける	細	章業分分類番	号	8	2	1	9	連	鎖化	/事業	業区 :	分		Ī	直営	店		□ 加盟店	1		非該当	当
再の	生可能	ドエ 用	ネルキ 状	ゴー 況			可能 設備		ルギ :置	_			:可能 :受入		ネノ	レギ	一電	Ì	□ 証書に の利用	よる	環境	価値	
前 か	年度らる		设告内 区更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 4	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 9	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 9	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 25.2	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	小数 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	2,461.1	45.00	110.7	0.0136	5.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	7,940.0	9.76	77.5	0.4890	3.9
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					188.2		9.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	55.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	55.0	/		0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
,	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法と		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1 事業所等の概要

	7 /1~/		- 100	·																	
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	こぶ	し会	館												
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	2	6							
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	0	2	区	市「	町;	村。	名 東京都立川	川市		
事	業所	等の)所 在	土地	町以	名 番	地 下	幸町	ſ5-	83-	1										
事	業所等	等の	延床面	面積		1	,275	.05	m^2	事	業				漬 ^左 : 用			D 目 1年度	分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	1所7	有] 他	1.者页	Ff有									
報	告	i i	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	・ナン	ント))		□ 建物の	一部	(その)他)
却	告範囲	I	ーたフト	日冷		事務	丽					商業	纟施言	没(集	勿販	į)		□ 商業施	設(食	欠食)	
羊収	一型世	ゴリノゴ	:/Ca/	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	設				■ その他			
に	本 標 おける	5細2	分類番	争号	8	2	1	9	連	鎖化	/事	業区 2	分		直	営	店	□ 加盟	店		非該当
再の	生可能	能エ 用	ネルコ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	-電	□ 証書に の利息		環境	価値
前 か	年度らる		设 告 内 定 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 32	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	(4) 63	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) 49.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	<u>— [X L // X / I X</u>	田玉 (1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	推計		// H F	1 Nr.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	9,626.9	45.00	433.2	0.0136	21.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	85,302.0	9.76	832.5	0.4890	41.7
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,265.8		63.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	370.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	370.0			0.4000	0.1
		合 計							0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策名 対策名 対策名 対策名 対策名	A203 具体的な取組目標と内容の設定 組織体制の整備 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 では用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 運用対策 D104 空調フィルターの清掃・点検 設備保守対策 設備保守対策 と調査を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	おな取組目標と内容の設定 手可能な情報に基づく把握 不在時等のこまめな消灯 言温度を都の推奨値へ変更 不在時等の空調停止 「イルターの清掃・点検 「ビュンドコントローラの設置 「関連で表した。 「日標達成した。	c. b 省エネルギー対策 集 提標 水状 の 日 <th>レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策</th> <th>B101 C101 C106 C109 D104</th> <th>具体的な取組! 自ら入手可能な 空室・不在時等 冷暖房温度を都 空室・不在時等</th> <th>日標と内容の設定な情報に基づく担いますのこまめな消灯の推奨値へ変いの空調停止</th> <th>卫握</th> <th>対策番号</th> <th>***</th> <th>村策名</th> <th></th>	レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策	B101 C101 C106 C109 D104	具体的な取組! 自ら入手可能な 空室・不在時等 冷暖房温度を都 空室・不在時等	日標と内容の設定な情報に基づく担いますのこまめな消灯の推奨値へ変いの空調停止	卫握	対策番号	***	村策名	
組織体制の整備 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 C101 空室・不在時等のごまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 運用対策 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 を立って、を対象を表した。 D104 空調フィルターの清掃・点検 E136 デマンドコントローラの設置 設備導入対策 E136 デマンドコントローラの設置 表験作度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) に2・非出量(総果面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	組織体制の整備 エネルギー等の 使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯	手可能な情報に基づく把握 不在時等のこまめな消灯 景温度を都の推奨値へ変更 不在時等の空調停止 E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。 目標	c. b 省エネルギー対策 集 提標 水状 の 日 <th>レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策</th> <th>D104</th> <th>自ら入手可能な 空室・不在時等 冷暖房温度を表 空室・不在時等</th> <th>な情報に基づく担 をのこまめな消灯 節の推奨値へ変 をの空調停止</th> <th>卫握</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策	D104	自ら入手可能な 空室・不在時等 冷暖房温度を表 空室・不在時等	な情報に基づく担 をのこまめな消灯 節の推奨値へ変 をの空調停止	卫握				
	田	不在時等のこまめな消灯 野温度を都の推奨値へ変更 不在時等の空調停止 「イルターの清掃・点検 「E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	c. b 省エネルギー対策 集 提標 水状 の 日 <td>レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策</td> <td>D104</td> <td>空室·不在時等 冷暖房温度を表空室·不在時等</td> <td>のこまめな消灯 部の推奨値へ変 をの空調停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策	D104	空室·不在時等 冷暖房温度を表空室·不在時等	のこまめな消灯 部の推奨値へ変 をの空調停止					
	田	不在時等のこまめな消灯 野温度を都の推奨値へ変更 不在時等の空調停止 「イルターの清掃・点検 「E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	c. b 省エネルギー対策 集 提標 水状 の 日 <td>レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策</td> <td>D104</td> <td>空室·不在時等 冷暖房温度を表空室·不在時等</td> <td>のこまめな消灯 部の推奨値へ変 をの空調停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	レギー等の 犬況の把握 用 対 策 備保守対策	D104	空室·不在時等 冷暖房温度を表空室·不在時等	のこまめな消灯 部の推奨値へ変 をの空調停止					
エネルギー等の 東用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯	エネルギー等の 使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 運用対策 D104 空調フィルターの清掃・点検 設備保守対策 設備保守対策 E136 デマンドコントローラの設置 表演年度の目標達成の状況 □目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無	不在時等のこまめな消灯 野温度を都の推奨値へ変更 不在時等の空調停止 「イルターの清掃・点検 「E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	カード 対策 「表 まままま」 表 まままままままままままままままままままままままままままま	犬況の把握 用 対 策	C101 C106 C109	空室·不在時等 冷暖房温度を表空室·不在時等	のこまめな消灯 部の推奨値へ変 をの空調停止					
エネルギー等の 東用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯	エネルギー等の 使用状況の把握 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 運用対策 D104 空調フィルターの清掃・点検 設備保守対策 設備保守対策 E136 デマンドコントローラの設置 表演年度の目標達成の状況 □目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無	不在時等のこまめな消灯 野温度を都の推奨値へ変更 不在時等の空調停止 「イルターの清掃・点検 「ビリントローラの設置 「標達成した。	カード 対策 「表 まままま」 表 まままままままままままままままままままままままままままま	犬況の把握 用 対 策	C101 C106 C109	空室·不在時等 冷暖房温度を表空室·不在時等	のこまめな消灯 部の推奨値へ変 をの空調停止					
使用状況の把握	使用状況の把握	語温度を都の推奨値へ変更	カード 対策 「表 まままま」 表 まままままままままままままままままままままままままままま	犬況の把握 用 対 策	C101 C106 C109	冷暖房温度を表空室・不在時等	部の推奨値へ変 等の空調停止					
C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止	C101 空室・不在時等のこまめな消灯 合暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止	語温度を都の推奨値へ変更	(インボー対策) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	用 対 策	C101 C106 C109	冷暖房温度を表空室・不在時等	部の推奨値へ変 等の空調停止					
C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止	C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止	語温度を都の推奨値へ変更	(省エネルギー対策 と) 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	備保守対策	C106 C109	冷暖房温度を表空室・不在時等	部の推奨値へ変 等の空調停止					
(Table 2019) 空室・不在時等の空調停止 (Table 2019) では、「おおいました。 (Table 2019) では、「おおいました。 (Table 2019) では、「おおいました。 「おおいました。」 「おいました。」 「おおいました。」 「おいました。」 「はいました。」	正 用 対 策	不在時等の空調停止	(省エネルギー対策 と) 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	備保守対策	D104	空室·不在時等	をの空調停止	更				
選用対策 D104 空調フィルターの清掃・点検 設備保守対策 E136 デマンドコントローラの設置 設備導入対策 E136 デマンドコントローラの設置 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) E標値等(選択) CO₂排出量(経床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	選用対策	7ィルターの清掃・点検 E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	(省エネルギー対策 と) 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	備保守対策	D104							
省 エネルルギ	省エネルギー D104 空調フィルターの清掃・点検 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 を 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	(省エネルギー対策 と) 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	備保守対策	D104	空調フィルター	の清掃・点検					
省 エネルルギー カ	省エネルギー カカ策 D104 空調フィルターの清掃・点検 Bi 備保守対策 Bi 標の有無回有 ■ 無	E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	(省エネルギー対策 と) 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	備保守対策	D104	空調フィルター	の清掃・点検					
正 ネルルギー カカ	エネルギー 対策	E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	エネルギー対策 実 5 目			空調フィルター	の清掃・点検					
正 ネルルギー カカ	エネルギー 対策	E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	エネルギー対策 実 5 目			空調フィルター	の清掃・点検					
ルギー カガ 策	ルギー 対策 設備保守対策 設備導入対策	E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	ルギー対策という。とは、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人			空調フィルター	の清掃・点検					
新 設備保守対策 設備導入対策 表演年度の目標達成の状況 目標の有無□有 無 ベンチマーク区分 CO2排出量(延床面積当たり) D104 空調フィルターの清掃・点検 E136 デマンドコントローラの設置 を表現した。 CO2削減率(前年度比) Kg-CO2/m² CO2排出量(総量)	ぎ D104 空調フィルターの清掃・点検 E136 デマンドコントローラの設置 設備導入対策 □ 目標達成した。 E担年度の地球温暖化対策の目標 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	ギー対策 と			空調フィルター	の清掃・点検					
D104 空調フィルターの清掃・点検 E136 デマンドコントローラの設置 設備導入対策 E136 デマンドコントローラの設置 設備導入対策 目標達成した。 E136 デマンドコントローラの設置 技術 専用	日 対策	E136 デマンドコントローラの設置 目標達成した。	対策			空調フィルター	の清掃・点検					
策 設備保守対策 E136 デマンドコントローラの設置 設備導入対策	 策 設備保守対策 設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 	目標を成した。	() () ()									
設備導入対策 正記6 デマンドコントローラの設置 設備導入対策	 設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 	目標を成した。	設備 集出 標									
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	目標を成した。	集績年月提出標	備導入対策								
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	目標を成した。	集績年月提出標	備導入対策								
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		集績年月提出標	備導入対策		+			E136	デマンドコントロ	ーラの設置	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		集績年月提出標	備導人対策								
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		5 提出 目 標									
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		5 提出 目 標									
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		5 提出 目 標		-							
目標の有無□ 有 ■ 無	目標の有無□ 有■無無		標	度の目標達成	で状況	□ 目標達成	戈した。					
目標の有無□ 有 ■ 無	目標の有無□ 有■無無		標	to to make the col	N							
ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) kg-CO2/m² CO2排出量(総量)		世.					İ					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)		目標値等	の有無					<u> </u>			_
			目標値等								(1)	9
その他特記事項に内容を記載	目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	1 CO / 2 CO HEILE		等(選択)	CO ₂ 排出量	と(延床面積当たり)	ŀ	kg-CO ₂	$_{2}/\mathrm{m}^{2}$ CO ₂	排出量(総量)		t
·	その他特記事項に内容を記載	横当たり) kg-CO ₂ /m CO ₂ 排出重(総量) t			その他		特記事項に内	羽容を記	記載			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					-						
6 特記事項			特記	記事項								
			3 標値等	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /							(1)	-
	目標値等(選択)	**************************************		等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CO ₂	$_2/\text{m}^2$ CO ₂	排出量(総量)		t
	その他特記事項に内容を記載				その他		特記事項に内	羽容を記	記載			
	<u> </u>											
3、特記事項			特 特 語	記事項								
, 付此 学 快	3、怯記事佰) 1年F	山宇伝								_
	5 特記事項											
	6 特記事項 											
	5 特記事項											
	5 特記事項											
	5 特記事項 											
	6 特記事項											
	6 特記事項											
	6 特記事項											
	5 特記事項											
	5 特記事項											
	6 特記事項											
	5 特記事項											

1	事業所	室(の概	要
1	T 75/1/1	710	ノンコメバ	ӡ

	3 /10/		- 100																					
事	業彦	等	の名	称	立)	川市	羽衣	で中と	央会	館														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	2	7										
Γ.					Ŧ	1	9	0	_	0	0	2	1	区	市	町	村:	名〕	東京	都立	川市			
事 	業所	等の	所 在	地	町以	名番	F 地 下	羽衣		-26														
事	業所等	等の タ	延床面	ī積			813	.65	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レキ	の 	実 , 使	績	年 用:	度 (期	の 間		1年度	度分	[1	年未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	者列	뒦												
報	告	1	範	囲		建物	カの生	全部	[〕建	物の)— [‡]	邪(ラ	ナ	ン	ト)			建	物の)一音	ß(3	この	他)
起	生統田	i o i	こたる用	1 次		事務	所					商業	(施	没(物	販)			商	業施	設(飲1)	
干区	口里巴口	コマノユ	ニハニクハ	1 仮		工場	<u>ヨ</u> ガ					複合	施	没					そ	の他	,			
に	おける	5細分	章業分分類番	号	8	2	1	9	連	鎖化	(事業	美区 2	分		j	直営	店			加盟	.店	ļ	= 3	非該当
再の	生可育	能工 用	ネルキ 状	ž — 況				エネ すの設	ルギ 世	_			可能 受入		ネノ	レギ・	一電			証書 の利,		5環	境価	i値
前 か		の 報 の <i>薬</i>	设告内 区更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 10	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	20	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 20	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 24.5	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		//. III II	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	小数 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	2,922.2	45.00	131.5	0.0136	6.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	28,157.0	9.76	274.8	0.4890	13.8
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					406.3		20.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	901.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	901.0			0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
,	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法書		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1	事業所	笙の	柙	西
1	ずモバ	マティン	TPAT.	ェ

	7 / 1 4//																						
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	天王	橋	会館														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	2	8									
					₹	1	9	0	_	0	0	3	3	区	市	町	村	名	東京都立	立川市	i		
事	業所	等 σ.	所在	地	町以	名番	F 地 下	一番	町3	-6-	-1							-2					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積			636	.35	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の :	実 <i>i</i> ・使	績 [年 刊		の 間	■ 1年	度分		1	年未満
所	有		形	態		自己	引所不	有		〕他	1者列	桁											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [‡]	郭(ラ	ーナ	ン	、)			〕建物	の一草	部(そ	その化	也)
共口	告範囲	I D F	ナーフロ	1 冷		事務	丽					商業	纟施	没(5	物具	坂)			〕商業	施設((飲1)	
羊収	古軋世	リワユ	こにつけ	1 述		工場	<u>크</u>					複合	施	設					■ その(也			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	2	1	9			/事業	業区 :	分		l <u>I</u>	直営	店		□ 加!	盟店		■ ∌	非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ノギ	一電	Ĺ		書によ. 利用	る環	境価	値
前 か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 7	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 15	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 23.5	kg-CO ₂ /m ²

		-四重4~111/1	推計		4.22	H W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8)×9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	2,656.4	45.00	119.5	0.0136	6.0
燃料	その他(LPG)			kg	3.0	50.80	0.2	0.0161	0.0
及	その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
#\\	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
_^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	19,226.0	9.76	187.6	0.4890	9.4
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 307.3		15.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	60.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	60.0	/		0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑰ (原屋のスの他の関係) 日本関本明本の場合するた。)の係者)×1.6

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
/	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法書		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1 事業所等の概要

	3 /1~/		- 100																					
事	業別	デ 等	の名	称	立)	川市	柴嶋	会的	館															
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	2	9										
					Ŧ	1	9	0		0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京都	邓立川	市			
事	業所	等 0	所在	地	町夕以	名番	* 地 下	柴崎	声 打	-16	-3													
事	業所	等の	延床面	ī積			678	.14	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 <i>i</i> ・使	績	年 用:		の間	1	年度	分		1年	未満
所	有	Î	形	態		自己]所	有] 他	1者月	ff有												
報	芒	î	範	囲		建物	カの 全	全部		〕建	物の)—₹	郭(ラ	ーナ	ン	١-)			〕建物	勿の一	-部3	(その	の他)
土口	光 然日	I	- ナ- フ ロ	- · · · ·		事務	新					商業	き施!	没(5	物	昄)			〕商氵	集施 割	足(食	欠食))	
羊収	古耶世	日クノ土	こたる月	力述		工場	<u>司</u>					複合	产施	没					その	り他				
に	おける	5細3	章業分分類番	号	8	2	1	9	連	鎖化	と事業	業区 :	分] [直営	店		□ t	中盟店	1		非	該当
再の	生可?	能エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_			三可能) 受 <i>入</i>		ネノ	レギ	一電	Ĺ		正書に O利用		環境	価値	Î
前 か		の 執 の 多	设 告 内 定 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	12	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	25	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 25	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 36.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計		4.	17 V/	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,793.2	45.00	170.7	0.0136	8.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	34,109.0	9.76	332.9	0.4890	16.7
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 503.6		25.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	158.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	158.0	/		0.4000	0.1
	-	合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
/	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法と		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1 事業所等の概要

所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 報 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他		- / / -/	,	,,																				
事業所等の所在地 〒	事	業別	デ 等	の名	称	立丿	川市	さか	え会	館														
事業所等の所在地 町名番地以名 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	3	0									
以							1	9	0	_	0	0	0	3	区	市	町	村	名	東京都	立川市	1		
T	事	業所	等 0	所 在	地		名 番	地 下	栄町	ſ4−	6-2													
報 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他 日本標準産業分類における細分類番号 8 2 1 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 証書による環境価値の利用 状 況 □ 新生可能の利用	事	業所	等の。	延床面	ī積			749	.47	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の <u>-</u>	実 ; · 使	績	年 用:			■ 14	年度分	•		1年未満
報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 工場 □ 複合施設 □ 複合施設 □ をの他 □ 本標準産業分類 8 2 1 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当時上記がる細分類番号 □ 再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ 証書による環境価値の利用	所	r 有	i	形	態		自己	引所不	钉		〕他	1者列	桁											
報告範囲の主たる用途 □ 工場 □ 複合施設 □ 本標準産業分類 における細分類番号 ■ 2 1 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該等 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー 気の受入 □ 正書による環境価値 の利用 前年度の報告内容	幸	!	i i	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	テナ	ン	۱)			〕建物	ガの一	部(その	他)
□ 工場 □ 複合施設 ■ その他 日本標準産業分類 8 2 1 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該領域における細分類番号 ■ 年可能エネルギーの 利用 状況 □ 再生可能エネルギー □ 有生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値の利用 状況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用	#1	上 佐日	I D I	ーたフロ	1 冷		事務	丽					商業	き施!	没(/	物	販)			〕商業	É施設	(飲	食)	
における細分類番号 8 2 1 9 単興化事業区分 □ 恒宮店 □ 加温店 ■ 非該 再生可能エネルギー	半	古軋出	ゴワノゴ	こにつけ	1 述		工場	<u>크</u>					複合	}施	設					し その	他			
の 利 用 状 況 発電設備の設置 気の受入 の利用 前 年 度 の 報 告 内 容	K	おける	5細:	分類番	号	8	_	1	_			(事業	美区 2	分		Ī	直営	店		口加	盟店			非該当
	1.										_					ネノ	レギ	一電				:る雰	環境信	面値
							·	·																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 15	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 30	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 30	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 40.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		-四重4~111/1	推計		4.22	H W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	5,875.3	45.00	264.4	0.0136	13.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
_^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	35,665.0	9.76	348.1	0.4890	17.4
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 612.5		30.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	233.0			0.2660	0.1
他	公共下水道	_		m^3	233.0			0.4000	0.1
		合 計							0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
/	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法と		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1 事業所等の概要

業〕	折 等	のり	名 称	立丿	川市	西砂	会的	館													
業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	3	1								
				₹	1	9	0	_	0	0	3	4	区	市	町	村	名	東京都立川	市		
業別	デ等 (の 所 :	在地	町以	名 番	*地 下	西砂										_				
業所	等の	延床	面積			548	.93	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の <u>:</u> _	実 ¾ · 使	績 [月	年 月:			■ 1年度分	ने		1年未満
7	有	形	態		自己	1所7	有] 他	1者列	斤有										
2	告	範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	テナ、	ント	.)			〕建物の−	-部	(その	他)
生統	田の-	ナたス	田之		事務	务所					商業	き施:	没(4	物則	反)			〕商業施設) (飲	(食)	
口甲山	<u> </u>	土たる	用壓		工場	型 勿					複合	产施言	設					■その他			
おけ	る細	分類	番号	8	2	1	9	連	鎖化									□ 加盟店	i		非該当
		ネル 状							_					ネル	ギ	一電	Ì	□ 証書に の利用	よるタ	環境信	 面值
	業 業 告 本お生 年	業 所 等 の 業 が 年 を を は で の ま で ま で ま か ま か ま で ま で ま か ま で ま で ま で	業 所 番 業 所 等 の 所 業 所 等 の 延 来 有 ち の 延 形 告 範 囲 で 産 分 ネ 、 大 生 可 利 に 用 の 報 告	業 所 番 号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有 形 態 告 範 囲 告範囲の主たる用途 本標準細分れ、状 内 生可能用 と	業所番号A 業所等の所在地 以 業所等の延床面積 素所等の延床面積 手	業所番号A 1 業所等の所在地 丁 1 町以 業所等の延床面積 有 形態 ■ 自己 告範囲の主たる用途 □ 建物 告範囲の主たる用途 □ 工場 本標準産業類 8 2 生前より 類番号 8 2 年度の報告内容	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業 所 番 号 A 1 0 1 業所等の所在地 「 1 9 0 町以 名 番 地 四 以 名 番 地 四	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 T 1 9 0 1 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 3 T 3 T 3 T 3 T 3 T 3	業所番号A 1 0 1 3 一 業所等の所在地 以 3 一 T 1 9 0 一 0 世 2 世 548.93 m² 事	業所番号A 1 0 1 3 - 0 1 3 - 0 1 3 - 0 1 3 - 0 1 3 - 0 0 1 3 - 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 m² ボッキック が が で で で で で で で で で で で で で で で で で	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 3 4 業所等の延床面積	業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 3 1 業所等の所在地 町 名 番 地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 1 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 1 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 1 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 1 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 3 4 区市町村名 「T 1 9 0 - 0 0 3 4 区市町村名 「T 2 番地 」 「T 3 4 番地 」 「T 4 番地 」 「T 3 4 番地 」 「T 5 番	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 1 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 3 4 区市町村名 東京都立川 町 名番地 以	業所番号A1013-0031 業所等の所在地 町名番地 以名番地 西砂町5-11-13 業所等の延床面積 548.93 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 1年度分 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 □ 韓物の一部(テナント) □ 建物の一部 告範囲の主たる用途 □ す務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲 本標準産業分類 8 2 1 9 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 生可能エネルギー 利用状況 □ 発電設備の設置 □ 再生可能エネルギー電 □ の利用	業所番号A1013-0031 業所等の所在地 「T 190-0034 区市町村名東京都立川市 「T 190-10034 区市町村名東京都立川市 「T 190-10034 区市町村名東京都立川市 「T 1 9 0 - 0 0 3 4 区市町村名東京都立川市 「T 2 番地 西砂町5-11-13 「基所等の延床面積 548.93 m² 事業所等の実績年度の 上ネルギー使用期間 1年度分 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その日本 一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 9	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 17	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 30.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	<u> </u>	日三 (1) 1 (1)	推計		// H F	1 Nr.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) 10=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	2,197.2	45.00	98.9	0.0136	4.9
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
75%	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	25,841.0	9.76	252.2	0.4890	12.6
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 351.1		17.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	73.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	73.0			0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設定				
¢П 9	職体制の整備							
作出. 介	戦や前の登漏							
	4 1	B101	自ら入手可能な	な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握							
/	13 / 10 / 10 /							
		C101	空室•不在時等	 のこまめな消灯				
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 アンティア				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
		D104	空調フィルター	の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
朿	以佣床与对来							
	設備導入対策							
	以用与八八八八							
+ 4=	また広の日標法書		口口無法	4 14				
夫的	費年度の目標達成	の状況	□□目標達用	以した。				
5 ;	提出年度の地球	温暖化去	+第の日煙					
<u>,</u> 目	標の有無		無無]				
	127 -> 11 7///	ベンチマー		ランク		COal	削減率(前年度比)	g
日垣	票値等(選択)		(延床面積当たり)				排出量(総量)	
口仮	尼田守(医八)		(延休田慎ヨだり)		-	CO ₂ :	外山里(総里)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	砂厂	学	習館	i i													
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	3	3							
					₹	1	9	0	_	0	0	3	1	区ī	市 町	村々	名 東京	都立川市	i		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	F 地 下	砂川	町1	- 52	-7										
事	業所等	多の多	延床面	ī積		1	,390	.61	m^2		業				責年 用:		5 ■ 1	上年度分	•	□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)一岩	部(ラ	テナン	√ ト)		□ 建	物の一	部(>	その作	也)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□商	業施設	(飲:	食)	
羊区	口軋团	(ノ土	こでの月	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	設			■ そ(の他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号号	8	2	1	9		鎖化	(事)				直営			加盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の	可能受入	ニエネ	ルギ	一電		証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 29	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 45.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		// H I	1 Nr.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	53.1	50.80	2.7	0.0161	0.2
及	その他(灯油)			L	8,400.0	36.70	308.3	0.0185	20.9
び熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	85,945.0	9.76	838.8	0.4890	42.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,149.8		63.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	919.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	919.0			0.4000	0.4
	-	合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
組;	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
) (大)					
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
省エネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対		D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	設備保守対策	D101	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
	責年度の目標達成 提出年度の地球標の 有無		無無	Ico	。削減率(前年度比)
目札	票値等(選択)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	O_2/m^2 CO_2	排出量(総量) t
6	特記事項		·		
	14404				

1 事業所等の概要

	7 /1~/		- 100																				
事	業 彦	デ 等	の名	称	西荷	少学	習館	i i															
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	3	4									
Γ.					Ŧ	1	9	0	_	0	0	3	4	区	市	町	村	名	東京都立	立川市	i		
事 	業所	等の	所在	地	町以	名 番	F 地 下	西砂	严6	-12	-10)						_					
事	業所等	等の	延床面	ī積		1	,619	.23	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レキ	の : 	実 <i>i</i> ・使	績	年 用:		の 間	■ 1年	度分	[1	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	1所7	有		〕他	者別	f有											
報	芒	i i	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [‡]	郭(ラ	ーナ	ン	F)			建物	の一节	部(そ	その作	也)
起	生統日	I M F	こたる月	1.沦		事務	所					商業	纟施言	没(4	物	販)			〕商業	施設(飲1)	
干区	口里位	コマノコ	ニルのカ	7.05		工場	<u>크</u> 7					複合	施	設					■ その(也			
に	おける	5細:	至業分分類番	号	8	2	1	9	連	鎖化	(事業	美区 2	分		j	直営	店		□ 加!	盟店	ļ	■ ∌	丰該当
再の	生可利	能工 用	ネルキ 状	· 況				ミエネ 背の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギ	一電	Ĺ		書によ. 利用	る環	境価	値
前 か			设 告 内 安 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 38	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 75	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 75	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) 46.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日三 (1) 1 4 (4)	推計		4. m B	17 W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	66.0	50.80	3.4	0.0161	0.2
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	153,571.0	9.76	1,498.9	0.4890	75.1
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,502.2		75.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	772.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	772.0			0.4000	0.3
		合 計							0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
組;	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
) (大)					
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
省エネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対		D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	設備保守対策	D101	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
	責年度の目標達成 提出年度の地球標の 有無		無無	Ico	。削減率(前年度比)
目札	票値等(選択)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	O_2/m^2 CO_2	排出量(総量) t
6	特記事項		·		
	14404				

1 事業所等の概要

	7 /15/		- 100																					
事	業所	等	の名	称	錦雪	学習	館																	
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	3	5										
					Ŧ	1	9	0		0	0	2	2	区	市	町	村	名	東京都	祁立川	市			
事	業所	等の	所在	地	町以以	名 番	· 地 下	錦町	ſ3−															
事	業所等	筝の変	延床面	i積		1	,965	.97	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 ; · 使	績	年 用:	度期	の 間	1	年度分	分		1年	未満
所	有		形	態		自己	L所和	有] 他	1者月	桁						_						
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—₹	郭(ラ	ーナ	ン	(-)			〕建4	物の一	-部3	(その	の他))
却	告範囲	I D T	ナス田	1		事務	骄					商業	き施:	設(/	物	坂)			〕商氵	業施設) (食	食))	
干区	口里巴口	リマンエ	./c'a//T	1 1/1		工場	<u>1</u>					複合	产施	設					その	の他				
に	本 標 おける	お細り	分類番	: 号	8	2	1	9	連	鎖化	/事業	業区 :	分] [直営	店		□ t	加盟店	i		非語	該当
再の	生可能	能エス 用	ネルギ 状	況				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の	三可能) 受 <i>入</i>	[工] 、	ネノ	レギ	一電	· 4		正書に D利用	よる	環境	価値	•
前 か	年度らる	の 報 り 変		容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 54	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 106	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	53.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	<u>— [X [] () () () () () () () () () (</u>	田田 (4 - 5 1 4 14)	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	17,728.4	45.00	797.8	0.0136	39.8
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	136,406.0	9.76	1,331.3	0.4890	66.7
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,129.1		106.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,221.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,221.0			0.4000	0.5
		合 計							0.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
組;	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
) (大)					
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
省エネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対		D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	設備保守対策	D101	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
	責年度の目標達成 提出年度の地球標の 有無		無無	Ico	。削減率(前年度比)
目札	票値等(選択)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	O_2/m^2 CO_2	排出量(総量) t
6	特記事項		·		
	14404				

1 事業所等の概要

	7 /15/		- 100																					
事	業所	等	の名	称	幸气	学習	館																	
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	3	6										
					Ŧ	1	9	0		0	0	0	2	区	市	町	村	名	東京都	鄒立川	市			
事	業所	等の	所在	地	町以以	名 番	F 地 下	幸町	T2-									_						
事	業所等	等の多	延床面	i積		1	,282	.04	m^2	事之	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>-</u>	実 ; · 使	績	年 用;	度期	の 間	1	年度	分] 1 ^左	F未満
所	有	•	形	態		自己]所	<u>有</u>		〕他	1者月	ff有												
報	告	1	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [₽]	部(ラ	ーナ	ン	١)] 建	物の-	一部	(そ	の他	Ī)
却	告範囲	i n i	・たて日	1.2		事務	所					商業	き施 き	没(/	物	販)			商	業施調	没(食	次食)	
羊区	口即因	リリノ土	:/この/f	1 还		工場	크 7					複合	}施	設					そ(の他				
に	本 標 おける	お細り	分類番	: 号	8	2	1	9	連	鎖化	/事業	業区 :	分		Ī	直営	店			加盟原	芋		非	該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の	三可能) 受 <i>入</i>	(エン	ネノ	レギ	一電	Ĺ		証書に の利用		環境	色価値	直
前 か	年度らる	の 教 り 婆		容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 24	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 47	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 47	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 36.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		-田東4小川	推計		//. H. F.	e vier	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	9,453.9	45.00	425.4	0.0136	21.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
_^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	54,170.0	9.76	528.7	0.4890	26.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 954.1		⁽¹⁵⁾ 47.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	519.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	519.0	/		0.4000	0.2
		合 計				/			0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
組;	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
) (大)					
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
省エネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対		D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	設備保守対策	D101	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
	責年度の目標達成 提出年度の地球標の 有無		無無	Ico	。削減率(前年度比)
目札	票値等(選択)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	O_2/m^2 CO_2	排出量(総量) t
6	特記事項		·		
	14404				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	高村	公学	習館	Ī														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	7	1								
					₹	1	9	0	_	0	0	1	1	区ī	† 町	村。	名東	京都立	川市			
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	F 地 下	高松	〉町3	-22	-5											
事	業所等	多の多	延床面	ī 積		1	,044	.20	m^2		業				責年 用:		か 間	■ 1年月	度分] 14	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		■他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の	〇一剖	3(そ	の他	<u>ħ</u>)
共口	告範囲	の主	・たてF	日次		事務	所					商業	纟施言	没(物	加販)			商業旗	包設(1	飲食	()	
羊区	口軋团	ひ土	ニベント	月还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他	1			
に	本標	細り	分類番	号号		2	1	9	連	鎖化	(事)	美区	分		直営	店	[コ 加盟	直店		■ 排	該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	デー 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の	.可能 受入	エネ	ルギ	一電	[」 証書 の利	ドによる 用	環境	竟価値	値
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 27	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 52	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 52	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 49.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計			开 业。	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の # E	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	981.2	45.00	44.2	0.0136	2.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
が、 	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
λ(その他の買電(昼夜	** 間不明の場合を含む。)		kWh	103,190.0	9.76	1,007.1	0.4890	50.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,051.3		52.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	456.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	456.0			0.4000	0.2
		合 計							0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
組;	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
) (大)					
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
省エネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対		D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	設備保守対策	D101	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
	責年度の目標達成 提出年度の地球標の 有無		無無	Ico	。削減率(前年度比)
目札	票値等(選択)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	O_2/m^2 CO_2	排出量(総量) t
6	特記事項		·		
	14404				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	歴史	民民	谷資	料飢	Ħ										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	6	6							
					₹	1	9	0		0	0	1	3	区ī	† 町	村。	名 ፺	東京都立力	川市		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	* 地下	富士	:見町	T3-	12-	34									
事	業所等	きの3	延床面	ī積		1	,708	.24	m^2			「等 レギ			責年 用:		か 間	■ 1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己]所	钉] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)一岩	郭(ラ	ーナン	√ ト)			建物の	一部	(その)他)
共口	告範囲	\mathcal{D}	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	7販)			商業施	設(食	欠食)	
羊区	口軋团	Vノ土	:/Ca/	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	2	1	3			(事)	美区 2			直営			□ 加盟	店		非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ルギ	一電		コ 証書(の利)		環境	価値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	14	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	28	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 28	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 16.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,014.0	45.00	135.6	0.0136	6.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	60.0	36.70	2.2	0.0185	0.1
び熱	その他()				0.0				
763	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	43,470.0	9.76	424.3	0.4890	21.3
規貝	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 562.1		⁽¹⁵⁾ 28.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	488.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	488.0	/		0.4000	0.2
		合 計				/			0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		東点文	対策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号		対策名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設	定			
組絹	戦体制の整備							
پ پ	ネルギー等の	B101	自ら入手可能	な情報に基づく	把握			
使月	用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度比	較			
		C101	空室•不在時	等のこまめな消火	ſ	C102	照明スイッチに	 点灯範囲を表示
		C109	空室•不在時	等の空調停止		C105	昼休み時の消灯	「の実施
		C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	C108	温度計等による	室温の把握と調整
						C110	余熱利用による	早めの空調停止
	運用対策					C115		務終了時に停止
省						C116		「用・離席時の停止
エネ						C120	外灯等の点灯時	時間の季節別管理
ルギ								
]		D104	空調フィルター	-の清掃・点検				
対策	設備保守対策							
İ								
	設備導入対策							
一		:の単河	□ 目標達	士) た		I	.	
天祁	1 中及 7 日 保	1074\7\f)[以した。				
	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無	1				
口	保り作無	<u></u> 口 有 ベンチマー			ランク	С)
目標	栗値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC	o_2/m^2 C	O ₂ 排出量(総量)	t
		その他		特記事項に				-

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	川走	越道	緑地	古月	民家	園										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	6	7			_			
			等の所在		Ŧ	1	9	0	_	0	0	0	2	区ī	市 町	村	名	東京都立川市		
事	業所	等の		地	町。以	名 番 地 幸町4-65														
事	業所等	争の	延床面	ī積			444	.18	m^2			了等 レギ			責 年 用		の 間	■ 1年度分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所不	钉] 他	1.者页	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ ト)			〕建物の一部	(その	他)
华口	告範囲	ロのナナ	ーたスH	1.2		事務	所					商業	(施	没(物	か販)			〕 商業施設(1	飲食)	
羊区	口軋团	リマノゴ	こに公开	1 还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他		
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	2	1	3	連	鎖化	么事美	美区 2	分		直営	店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	江沢			可能 設備		ルギ 置	_		再生 気の			ルギ	一電		□ 証書によるの利用	環境信	西値
前か	年度らの		设 告 内 定 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 4.5	kg-CO ₂ /m ²

		田平 (1・2) 11/1	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	52.2	45.00	2.3	0.0136	0.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
700	その他()			0.0					
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	4,632.0	9.76	45.2	0.4890	2.3
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽¹⁴⁾ 47.6		¹⁵ 2.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	173.0	$\overline{}$		0.2660	0.0
他				m^3	173.0	/		0.4000	0.1
				/			0.1		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

		受の実施状 	重点対	策			その他対策	 衰
		対策番号		対策名		対策番号	対	策名
		A202	温暖化対策推	進担当の配置				
組	織体制の整備	A203	具体的な取組	目標と内容の設	定			
		D101	白とする可能	なは却に甘 ざん	m #E			
工	ネルギー等の	B101		な情報に基づく打 用量の前年度比				
使	用状況の把握	B105	エネルギー使	田里の削牛及れ	.甲文			
		C101	空室•不在時等	等のこまめな消火	ſ	C102	照明スイッチに点	灯範囲を表示
		C109	空室•不在時等	等の空調停止 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん		C105	昼休み時の消灯の	の実施
		C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	C115	事務用機器を業績	務終了時に停止
						C116	個人用端末の不足	用・離席時の停止
	運 用 対 策					C117	便座ヒーター等温	度の季節別設定
省工								
エネルギー								
		D104	空調フィルター	-の清掃・点倫				
夶		DIOI	1. IVII > 1/• >	*>1H11H				
策	設備保守対策							
	設備導入対策							
	成 州 等 八 刈 水							
実績	責年度の目標達成	の状況	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	成した。				
	提出年度の地球			1				
目	標の有無	有ベンチマー	■ 無ク区分		ランク	CO2	削減率(前年度比)	9
目相	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CO	o_2/m^2 CO ₂	排出量(総量)	t
		その他		特記事項に		•		
6	特記事項							

1 事業所等の概要

	7 / 1 - / /																							
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	学核	泛給 1	食共	同訓	理	湯												
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	7	2										
					₹	1	9	0	_	0	0	1	5	区	市	町	村	名	東京	都立	川市			
事	事業所等の所在は					名番地 _下 泉町1156-14 4,605.00 m ² 事業所等の実績年度の ₁ 年度分 □ 1 ⁴ □ 休 田 期間 ■ 1年度分 □ 1 ⁴ □ 休 田 期間																		
事	業所等	等の)	延床面	ī積		4	,605	.00	m^2	事	業	「等 レギ	の 	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 刊 :	度期	の間		1年度	を分	[] 1	年未満
所	有		形	態		自己	1所7	有		〕他	1者原	桁												
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ン	\)			〕建	物の	一部	ઉ (સ	- 01	也)
共口	告範囲	I D -	ーたフロ	1 %		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施								業施	設(飲食)							
羊区	古軋世	リクノユ	こにつけ	1 述		工場]		□ 複合施設 □] そ	の他							
に	本 標 おける	6細2	分類番	号	7	7	2	1	連	鎖化	/事	業区 2	分		l <u>ī</u>	直営	店			加盟	店	ı	■ ∌	丰該当
再の	生可能	ドエ 用	ネルキ 状	ž — 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネバ	レギ	一電	Ì		証書(の利)		5環:	境価	値
前か	年度らる	の 朝 り <i>ਭ</i>		容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	500	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	970	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	17	t
	総計(④=②+③)	4	987	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	210.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	, , , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , </u>	田東子小川	推計			开 业。	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
.[4]	都市ガス			Nm^3	214,426.3	45.00	9,649.2	0.0136	481.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
#\\	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
_^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,000,177.0	9.76	9,761.7	0.4890	489.1
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	승 計						⁽⁴⁾ 19,410.9		970.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	26,943.0			0.2660	7.2
他	公共下水道	卡下水道		m^3	26,943.0	/		0.4000	10.8
	<u> </u>			/			17.9		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

4	地球温暖化对策	CVフラCNEW	<u>重点対策</u>		 その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
√ п «	か 什 畑 の 畝 供	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
組育	職体制の整備			A211	所内で温暖化対策情報の提供
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
エン	ネルギー等の	B101	関連他者からの情報を加えて把握	B104	過去のデータによる傾向の把握
使丿	用状況の把握	B102	エネルギー使用量の前年度比較	D100	<u> </u>
				C10F	日任九叶の沙切の安长
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C215	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省				C129	季節に応じた温度設定の見直し
工				C202	バックヤードのこまめな消灯
ネ				C214	調理器具等の効率的な使用法表示
ルギ				C217	その他設備の不使用時の停止
Ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	11. 供道 7. 社等			E122	給湯の温水配管の保温の実施
	設備導入対策			E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無							
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載						

6 特記事項			